

平成30年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 1目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

基本施策4 高齢者支援の充実

【会計】介護保険特別会計

施策3 多様な生活支援サービス提供体制の整備を推進します

3款:地域支援事業費 3項:包括支援事業・任意事業費 1目:包括支援事業費

事業	43	生活支援体制整備事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
27,727千円	6,378千円	10,675千円	5,337千円		5,337千円

【事業の概要】

事業の概要	生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置を図る中で、生活支援等サービスの提供体制の整備を図ります。
事業の目的	単身高齢者や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、地域住民に身近な存在である市町村が中心となって、NPO、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、シルバー人材センター、高齢者クラブ、商工会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とします。
事業の効果	生活支援等サービスの提供体制を整備することで、高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
講師謝礼	90千円	講演会講師料(3回分)
9 旅費		
普通旅費	10千円	職員の出張に要する交通費
11 需用費		
消耗品費	20千円	書籍購入費及び事業用消耗品(講演会関係)
食糧費	3千円	講演会の実施に係る講師弁当及びお茶代
印刷製本費	684千円	生活支援コーディネーター周知用チラシ(5,000枚)の印刷代 地域包括ケアシステム周知用パンフレット(10,000部)の印刷代
13 委託料		
高齢者の生活支援コーディネーター等事業委託料	26,920千円	市内5か所の地域包括支援センターに配置
計	27,727千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成30年度計画値
生活支援コーディネーター(第2層)の 配置数	5人
第2層(日常生活圏域)協議体(会議)の 開催回数	14回
生活支援等サービス実施団体(箇所) 把握数	250団体(者)
高齢者福祉(在宅福祉)サービスが 充実していると感じる市民の割合	35%